

衣川録音ボランティア たんぽぽの会

「テープの声を聞くと、読んだ人の体調や表情が分かるんです。だから読むときは笑顔で読むように心掛けています」と語るのは、たんぽぽの会の南洞やす子会長。

平成12年に旧衣川村社会福祉協議会が行った録音ボランティア養成講座を受講した16人により同年6月、同会が発足。主な活動は、市の広報や議会だより、福祉だより、衣川区のミニ広報などをカセットテープに録音し、視覚障がい者や高齢者に声の広報として届けることです。

発足当時24人いた利用者は、現在は7人と1施設。それでも声の広報を必要としている人がいる限り、毎月第1土曜日の朝から夕方まで、声の広報づくりを続けています。録音は月に1度ですが、これに向け会員

がそれぞれ役割分担をして、割り付けや読み仮名の確認、機材の準備、そして利用者への発送をします。

声の広報づくりには、利用者の声も反映されています。同会では、年に2回ほど利用者との交流会を行っており、その中で意見を聞いています。『7』は『1』と聞き間違えるから、『しち』ではなく『なな』と読んでほしい。あまり読む速さが遅いとこえって疲れる」など。「会員だけでは分からないことを教えられる」と副会長の浦川ツヤ子さん（67）は言います。

同会の最大の特徴が、録音に毎回中学生が参加していることです。これは今から10年ほど前、発足して間もないころに衣川中学校に呼び掛けたことがきっかけ。今では同校のボ

ランティア委員会が自主的に参加者を集め、毎回4〜5人、多いときは23人が参加したこともありました。この活動を通して、中学生に市の出来事や障がいを持つ人への理解を深めてもらう機会にもなっています。

6月2日の録音には、同校3年で吹奏楽部所属の4人が参加しました。初めて参加したという千田静香さんは、「まちの話題で江刺区の出来事を読んだが緊張はしなかった。また参加したい」と次回への意欲も満々。明るく笑い声あふれる会場の雰囲気



浦川さん（右）の指導を受けて原稿を確認する中学生ボランティア

interview



たんぽぽの会
会長
南洞 やす子さん（56）

発足以来「できる人が、できる時に、できることを」が会のモットー。だから長く続けてこれました。

会員のほとんどが県内外から衣川に嫁いで来た人。年2回の研修会もあり、この活動を通じて多くの人と仲良くなれたことがうれしいです。新しい仲間も募集していますので、興味のある方は来てみてほしいですね。



声の広報
利用者
高橋 幸志さん（57）

目が不自由だと情報が入りにくいですが、声の広報は市の現状を知る上で大きな情報源です。家事をしながら聞くことができ時間を有効に使えます。これが録音テープのメリットです。最近では、市のホームページでも音声読み上げサービスがありますが、やはり人の声を聞くのがいいですね。これからも利用していきたいと思います。

録音を担当する横山さん（左）と広報を読み上げる木村さん（右）



NPO 伝言板

市内のNPO活動をお知らせします。
情報の掲載を希望する場合は、市民活動支援センター（☎④ 4200）までお問い合わせください。

●五輪峠―古道の歴史と自然を訪ねて

日時：6月26日☎午前8時半～午後3時10分

集合場所：Zプラザアテルイ

内容：五輪峠の古道の歴史と自然を探ね、宮沢賢治の詩「五輪峠」の原風景を追体験

※五輪峠＝江刺区米里、花巻市、遠野市の境にある峠

定員：25人（先着順・要申し込み）

参加料：無料

その他：マイクロバスで移動

問い合わせ・申込先：奥州・いわてNPOネット（☎④ 4200）

●被災者サポート拠点「ホープラザ奥州」開設

開所式：7月1日☎午前11時～

場所：メイプル地下1階

休館日：毎週☎、年末年始

時間：午前10時～午後5時

内容：沿岸被災地域からの避難者の生活相談、被災者交流会など

問い合わせ：復興支援奥州ネット（佐藤 ☎ 090-4556-9005）

●介護予防運動教室

日時：6月～3月の☎☎☎、午前10時～正午

場所：市勤労青少年ホーム江刺サテライト、えさしグリーンパークなど

内容：簡単な運動や体操、血圧測定、健康相談など

対象：概ね65歳以上の人

参加料：500円/回

問い合わせ・申込先：サポートセンターNPOえさし（☎④ 2271）